

助成年度：平成 10 年度

[所属] 岡山大学 資源生物科学研究所
[役職] 助手
[氏名] 榎本 敬

[課題]

里山や人里の植物の種子の収集・保存と利用に関する研究

[内容]

減少しつつある里山や人里の植物を現地で保護できるよう取り組むことは重要であり、それに取り組む一方で、取り返しがつかなくなる前に、その植物の種子を収集し、生存状態で保存し、研究や自然の復元などに役立てることを目的にこの研究を行った。

この期間中に調査に出かけた都道府県は 18 にのぼり、平成 10 年 10 月以降に採取した種子及び標本は 161 科 1,300 種、2,532 点であった。

インターネットのホームページ(<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/wild/index.sjis.html>)に種子の収集状況や画像を公開したことや水草研究会の全国集会を当地で開催したことなどで、多くの方から種子の送付などを受けることとなった。現在までに収集できた種子およびさく葉標本の種類数は表 1 のようになっている。この中で冷凍保存種子とはマイナス 20℃で保存されている種子であり、大部分は発芽能力を持った生存種子である。

こちらからの種子の配布希望も増加しており、この期間中には 68 件の種子を希望者に提供した。日本に自生あるいは帰化している植物の中で里山の植物と呼べる種として 129 科 784 種を数えた。レッドリスト掲載種は 17 科 25 種であった。

人里に生育している種類は約 119 科 1,050 種と算定されたが、レッドリストに掲載されている種類が 29 科 50 種あり、里山よりも種類数が多かった。